

八幡市12月議会 一般質問

日本
共産党

くらし まちづくり 願い実現へ一歩前進

12月の八幡市議会では日本共産党は一般質問に取り組みました。その中で、くらしやまちづくりの分野で一歩前進した点があります。

介護サービスの充実

介護保険では、政府が要支援1、2の人の介護サービスを制限しようとしています。八幡市はこれまで受けていたサービスを制限しないことを約束しました。

中学校給食5月中に開始

中学校給食について教育委員会は、来年5月中にスタートさせることを約束。中学校給食費も就学援助の対象にすることを明言しました。

学校のエレベーター、順次設置へ

男山中学校にエレベーターを設置する工事が予定されていますが、八幡市は、ほかの学校にエレベーターを設置する方針を示してきませんでしたが、エレベーター設置を求める世論が広がる中で、今回、ほかの学校にも財政事情を考慮しながら順次設置していく考えを示しました。日本共産党と市民のみなさんが取り組んできた課題が、他の会派にも影響を与え、世論が広がってきています。

1月にスーパー開店

男山団地・南センター



男山南センターの商業施設は、来年1月中旬にスーパーがオープンします。現在、店舗の改装工事が始まっています（写真）。業務用スーパーですが、小分けした商品も販売し、地域の身近な商業施設として復活することができました。また、スーパー再開にあたり、求めてきた地元雇用についても考慮され、募集が始まっています。

プラスチックごみ 毎週回収を！

早期改善、約束せず

プラスチックごみの回収は、昨年からはまりましたが、八幡市では2週に1回の回収にとどまり、市民のみなさんを悩ませています。城南衛生管理組合のほかの5自治体でも、枚方市でも毎週1回の回収をしているように、八幡市でも改善を求めましたが、市長は、改善したいが財源の問題があると言って消極的な答弁をしました。